

第1回多治見市役所本庁舎跡地等利用検討市民委員会 会議録

日 時	令和6年2月26日(月)午後1時30分～午後3時30分
会 場	子ども情報センター2階研修室
出席委員	川口暢子委員(委員長)、原國夫委員(副委員長)、羽瀧朋之委員、小坂光郎委員、八橋祐司委員、安藤英利委員、小口英二委員、田代伸一委員、加藤由紀委員、長尾純夫委員、長崎恵美委員
欠席委員	網干牧夫委員
事務局	高木市長、柚木崎総務部長、福田総務課長、山本課長代理、佐藤主任、日本工営都市空間(株):2名
傍聴人	2名
報道機関	4社

会議結果 要旨

1. 今後の跡地利用の主な意見として、「まちづくりの一環として跡地利用の必要性」や「地域資源を活用した跡地利用に必要性」について、意見交換がなされた。
2. 今後の委員会に向けた意見として、「今後の進め方」や「検討の与条件」について、意見交換がなされた。
3. 委員からの情報共有として、「商店街」や「他の会議体での意見」等の情報について、共有が図られた。

議事 次第

1. 開会のあいさつ
2. 各委員による自己紹介・あいさつ等
3. 委員長・副委員長選出
4. 委員会の目的・目指すところ
5. 新庁舎整備に関するこれまでの取組みや経緯
6. 情報共有
 - (1) 多治見市のまちづくりに関する長期ビジョン
 - (2) 上位関連計画における本庁舎跡地の位置づけ
 - (3) 現本庁舎の基本情報(老朽化の状況等)
7. その他の質疑応答・意見交換
8. 今後の予定
9. 閉会

跡地利用に関する意見

1. まちづくりの一環としての跡地利用の必要性の指摘

(1) 市の課題への対応

【人口減少問題等への対応】

- ・多治見市に限った話ではないものの、人口減少問題については、どのようにして食い止めるかという視点も含めてまちづくりを考えることが、現本庁舎跡地等利用の検討にも役立つと思う。

【限られた財源の中での跡地利用】

- ・建築費が非常に高騰していることを加味すると、市の予算としてどのくらい、現本庁舎跡地等利用に使用できるのか、いずれは示してほしい。今後、意見が白熱して、あれもこれもというのはなかなか難しいと思う。予算を示してもらうことで、予算内でできることを話し合えるといいと思う。

(2) 地域の課題への対応

【商業地としての方向性】

- ・行政機能が多治見駅周辺に移ることで、現本庁舎跡地等周辺の地域は、今後商業地区としてやっていくのか等、行政機能移転後の地域の方向性を考える必要がある。

【土日の駐車場不足への対応】

- ・市役所の駐車場は、土日に結構いっぱいになっている。平日の市役所利用者の客層とは違い、土日の駐車場利用者は、子連れの方が多い。市役所の駐車場に駐車してオリベストリート方面に歩いていく姿をよく見かける。
- ・駐車場が確かに不足している。多治見橋パーキングは、産業文化センターの駐車場にもなっているので、産業文化センターでイベントがあると満車になってしまう。

(3) 現時点の跡地等利用イメージ案

- ・観光、経済、人々が営むまち、生活する場所へ繋がっていくというふうになると、物語ができ、風景が形作られる。これを目指す1つの拠点となればいいと思う。
- ・周辺地域の3つの特徴（観光の拠点、銀座アーケード街、文教地区）を補完できるような拠点施設を現本庁舎跡地等に求めていきたいと思う。
- ・利用イメージとして、新たな事業者の出店が進むオリベストリートと近接することを生かし、新しくビジネスにチャレンジができる場や、インキュベーション的のいろいろな人が入れて、そこから育っていく場所や、芝生広場等の人々が憩うような場所など、さまざま利用が考えられる。
- ・建物を整備して決まったことしかできない状態ではなく、社会実験等の暫定的な利用を通じて、いろいろな人が、様々なチャレンジができる、自由に使えるようなしつらえにすると、面白い拠点になっていくと思う。

2. 地域資源を活用した跡地利用の必要性の指摘

(1) 各拠点をつなぐまちづくり

- ・現在の本庁舎跡地等単体で考えるのではなく、拠点や施設等を、点から線に、線から面につないでいくことが、今後の多治見市のまちづくりとしての課題と思う。

(2) 周辺商店街との連携

【オリベストリートとの連携】

- ・最近では、オリベストリートに人が戻ってきた、事業者の方々が連続して出店していること等を踏まえて、オリベストリートをさらに活性化していきたいという、地域としての考えがある。

- ・観光客が訪れる場所は、市内に永保寺などの国宝もあり、いろいろな観光スポットがあるが、最後に食べて、お土産を買って、楽しむ場所はオリベストリートである。

【銀座アーケード街との連携】

- ・銀座アーケード街も含む周辺の地域について、この委員会が地域の課題や将来を考えるきっかけになるといいと思う。現在、多治見中の商店街が大変疲弊している中で、住民が買い物したり、憩えたりするような商店として、新たな可能性を模索ができなかつと思う。

今後の委員会に向けた意見

1. 今後の進め方に関する意見

- ・広く全体的に考える事項と、細かい事項とがあり、思考がばらついてしまうと少し整理が難しくなる。いくつかの検討ステップを踏まえる必要がある。

2. 検討の与条件に関する意見

【検討対象】

- | | |
|------|---|
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・本委員会で検討する、現本庁舎跡地等はどこまでの範囲なのか。現本庁舎の敷地なのか、駐車場や、公用車の駐車場部分の敷地の取扱や、賃貸で借りている駐車場部分等、どのぐらいの規模・範囲で考えたらよいか示してほしい。 |
| ⇒事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・建物の敷地だけではなくて、もう少し幅広に捉えていきたいと思う。その幅広な範囲でまちづくりを進めていきたいという思いはあるものの、市役所として使えるリソースは市役所が持っている敷地に限定される。 ・市有地になっている部分はすべてリソースとして対象になる。(今建物が建っているところ、庁舎前の駐車場、隣の倉庫) ・借地は、基本的には使わなくなればお返しするということがまず第一歩になる。ただし、先の展開で借地部分の土地も使えるとまちづくり的に有用であれば、地権者と交渉する。費用の問題であり、あらかじめ議論からはじく必要はないものの、最初から全部を対象範囲とすることはやや難しい。 |
| ⇒委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・市有地か借地か、場所について明確に示してほしい。 |
| ⇒事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・近隣で市有地を色塗りした資料等、対象がわかるものを次回共有する。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・事務局の説明で、現本庁舎跡地等の「等」について、どこが使えるかは別にして、今の施設を利用し、旧庁舎を使うというイメージの説明に捉えられたが、参考資料、老朽化の説明がされている。跡地「等」の意味合いを再度説明してほしい。 |
| ⇒事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・跡地「等」の利用というのは、本委員会で議論するにあたっては、建物を利用しないことを決め打ちしてしまうと、議論が活発にならないことが懸念されるため、「等」と表現をつけている。 ・行政としては、耐震性や整備費の面で、現本庁舎の建物をそのまま使うのは難しいと考えている。周辺地域については、もちろん現本庁舎の跡地だけではなくて、周辺のことも含めて考えていきたいと思う。 |

【周辺地域における整備方針及び取組】	
委員	・資料に記載の「大環状道路の整備」については、何十年も整備できていない。このような問題が山積みであり、整備事業が前進すれば現本庁舎跡地等の議論も全然違う方向に進む可能性もあるので、市役所には頑張ってほしい。
⇒事務局	・道路整備が弱いというのはずっと市民の皆様からお叱りを受けている。ご意見があったということについて、庁内担当部署に反映する。資料は、都市計画マスタープランに書いてある将来ビジョンであり、そのまま転記しているもの。
⇒委員	・計画としてはよいものの、過去20年進捗していない事業のため、絵に描いた餅にならないように実施してほしい。道路以外の課題も含めて、この地域周辺における課題を共有してほしい。
⇒事務局	・道路整備以外にも、この地域の課題を整理して、次回共有する。
3. その他の意見	
委員	・川南まちづくり実行委員会での意見について、簡単なものでも、参考になると思うので、共有してほしい。
⇒事務局	・承知した。

委員による情報共有	
1. 商店街に関する情報	
【オリベストリート】	
・オリベストリートは、20年前から徐々に、日帰り観光地の拠点として、受け入れられてきている。6年半前から、新しいお店が徐々にできており、年々観光客が増えているように感じる。	
【広小路商店街】	
・広小路商店街は、ほとんど後継者がいないため、店舗が閉鎖されて、シャッターばかりとなり、今年度（令和5年度）3月31日をもって、解散が決定している。	
2. 他の会議体での意見の共有	
・他の多治見市のワークショップに参加した際に、今以上の駐車場スペース確保（オリベストリートの利用者や銀座通りで開催されている銀ブラ市（月1回開催）の利用者が利用できる駐車場が不足）、地域の集会所を兼ねる施設（現状はない）等、多くの利用イメージの意見があった。	
・川南まちづくり実行委員会では、お年寄りの方からは、公園だけでいい、お子さんがいる若い世代の方からは、遊びに来れる公園がいい等の市民から意見を聞いた。	
・若い世代が住みやすいまちがいい、という声を聞く。	
・現本庁舎周辺は学校や、郵便局・銀行が近く、駅までも徒歩・自転車でアクセスできる住みやすい利点がある一方で、最近移住してきた若い方や観光に来た方からは、八百屋さんで野菜は買えるものの、コンビニやスーパー、ドラッグストア等の日常の買回り品等ができる場所の不足等の意見を聞いた。	
3. その他	

- ・多治見市の古い地主の方はたくさん土地を持っている。誰か見知った人を介すると借りられるものの、そうでないと、なかなか貸してもらえない現状がある。